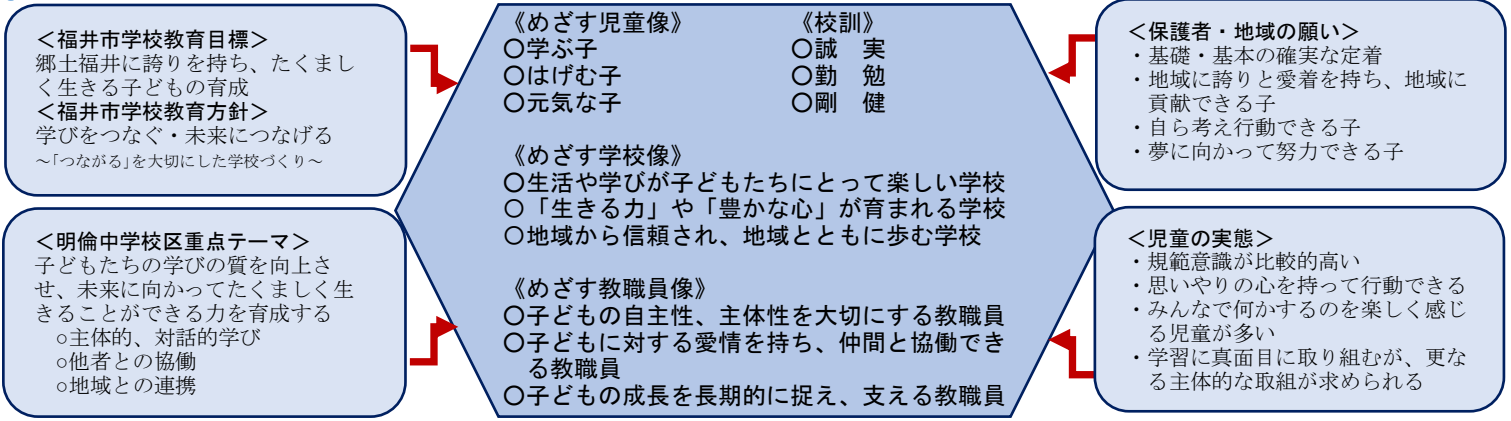




教育目標 「心をみがき 学に勉め 自己を拓く 木田っ子の育成」



重点目標

確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな身体の育成	信頼される学校
<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領の趣旨を踏まえ、自ら学ぶ子どもを育成 ○授業を支える基礎力をつけるための工夫 ○読書習慣を育む活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別の教科「道徳」を生かした道徳教育の推進 ○多様な集団の中でより良い人間関係を築く場づくり ○自己肯定感向上の取組推進 ○人権侵害の未然防止 	<ul style="list-style-type: none"> ○落ち着いた生活習慣の醸成と危険を回避する能力の育成 ○運動習慣の定着と体力向上 ○「食」に関する教育の充実 ○危機管理体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者や地域との連携を密にした学校づくり ○家庭・地域への情報発信 ○学校・家庭・地域が担うべき役割の理解

具体的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ○主体的な学び、深い学びにつなげていくため、教え込まない楽しい授業の工夫を行う 【わかる授業づくり】 ○タブレットを活用した授業実践を行う <ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びへの活用 ・ICTによるつながる学び 【ICTの活用】 ○学校司書との連携を強化し、読書習慣の定着を図る ○主体的な家庭学習への仕掛け作り 	<ul style="list-style-type: none"> ○心を育て実践力につながる道徳の授業研究を行う ○「自分がされて嫌なことは決して人にははしない。自分がされてうれしいことを人にしよう。」を意識づけ ○子どもの声に耳を傾け、良い点や頑張りを認め、褒める機会を増やす ○いじめや人権侵害に関するアンケートを定期的の実施し、早期発見、解決に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に落ち着いて学校生活を送る環境を整備する <ul style="list-style-type: none"> ・清掃、給食などへの取組 ・休み時間の過ごし方 ・登下校のマナー等 ○体育的な行事や活動に目標を持って取り組み、体力の向上や健康的な生活に繋げる ○栄養教諭、養護教諭、担任等が連携して食を通じた体づくりへの支援を行う ○災害やコロナ等への日頃の備え 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域と連携した教育活動を積極的に展開し、地域やふるさとへの愛着や誇りを育てる ○地域の自然、人、社会を活用した教育活動を通して、社会に開かれた教育課程の構築に努める ○学年、学校便りやホームページを用いて教育活動について発信する ○学校・家庭・地域がそれぞれ担うべき役割についての理解を進める
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に主体的に取り組んでいる児童 80%以上 ・タブレットを積極的に活用している教職員 100% ・学校や家で本をよく読んでいる児童 80%以上 ・宿題以外の自分で考えた学習ができる児童 70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間に考えを深めることができる児童 90%以上 ・自分によいところがあると感じる児童 90%以上 ・学校が楽しいと答える児童 90%以上 ・夢やめざす目標を持つ児童 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがや病気などに気を付けて落ち着いて生活をしている児童 90%以上 ・保健室来室者前年比 30%減 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土福井を大切にしたいと考える児童 80%以上 ・学校の考えが適切に伝えられていると考える保護者 90%以上

<業務改善の取り組み> 明日の授業に、元気よく笑顔で臨むための「働き方改革」(時間外勤務 月45時間以内)

- ・課題を一人で抱え込まず組織で取り組む
- ・午後7時までの退勤の励行
- ・毎週水曜日のノー残業デーは6時退校
- ・会議は短く、教材や資料はどんどん共有
- ・「業務推進日」年間20日以上
- ・教員が全てしない、子どもに任せる